

一般質問通告表

平成30年第3回始良市議会定例会（9月7日）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 竹下日出志	1. 食品ロスの削減の推進について	<p>本来はまだ食べられる状態の食べ物が廃棄されてしまう「食品ロス」。日本で発生する量は年間646万トン（2015年度推計）。これは国連の世界食糧計画が発展途上国に食糧を援助する量の2倍に上る。食品ロスを少しでも減らすため、消費者への意識啓発や、未利用品を災害支援や社会福祉に活用するフードバンク活動支援が求められている。</p> <p>(1) 食材を使い切る「使いキリ」、食べ残しをしない「食べキリ」、ごみとして出す前に水を切る「水キリ」の3つの「キリ」を推進する「生ごみ3キリ運動」を推進する考えはないか。</p> <p>(2) 家庭での食べ残しを減らす取組として、毎月30日は「冷蔵庫クリーンアップデー」、毎月10日は「もったいないクッキングデー」とする「残さず食べよう30・10運動」の推進や、冷蔵庫に貼れる食品ロス削減ロゴステッカーを作成する考えはないか。</p> <p>(3) 飲食店等で食べきれ分量のメニュー充実や残さず食べる運動の推進、持ち帰りに取り組む店舗の応援や、「残さず食べよう推進店」を認定する制度を考えないか。</p> <p>(4) “もったいない”から“ありがとう”へ、賞味期限が1か月以上ある缶詰・カップ麺・お米などを寄付していただくフードドライブ運動を推進する考えはないか。</p> <p>(5) フードバンク等民間団体に食品ロス削減の取組を支援するため、企業等から寄贈された食品を福祉施設等に無償提供する取組等を支援する助成</p>	市長 教育長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>2. 防災対策の強化について</p>	<p>制度を創設する考えはないか。</p> <p>記録的な豪雨に猛暑、迷走台風と、今夏の列島は異常な天候に見舞われている。</p> <p>気象庁は7月の豪雨と猛暑を「30年に1度よりも発生確率が低いという意味で異常気象だ」と総括した。また、連日の猛暑を「一つの災害」と位置づけ、命を守るよう緊急の呼びかけを行った。尋常でない事態である。</p> <p>(1) 今回の豪雨災害で浮かび上がった課題の一つが、高齢者や障がい者の災害弱者の避難である。本市では要支援者の避難対策や福祉避難所の整備をどのように考えるか。</p> <p>(2) 地域の防災対策の再点検を呼びかける「地区防災計画」は、自治会や企業などが実情に応じた防災活動の計画を立て、市の地域防災計画の一部として提案する。今後、普及・推進をどのように考えるか。</p> <p>(3) 各自治体で地域の特性に応じた「ハザードマップ」を作成し住民に配布している。居住地の危険度を認識し、災害時には一人ひとりが当事者の意識を持って行動するための対応をどのように考えるか。</p> <p>(4) 内閣府公表の「避難所運営ガイドライン」には「避難所生活は住民が主体となって行うべきもの」となっているが、災害発生時の避難所運営の流れはどのようになっているか。とりわけ、初動期の避難所にあっては、地元住民の避難者が大半であることから、初期避難者の中から代表者を選び、避難所の運営組織をつくることになっているが、どのように考えるか。</p>	<p>市長 教育長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 公共施設や公園のトイレの整備について</p>	<p>公共施設や公園のトイレの洋式化の実態はどのようになっているか。</p> <p>トイレの洋式化には費用と時間がかかるため、和式トイレに手すりの設置を早急に望む声があるが、どのように考えるか。</p>	<p>市 長 教育長</p>
<p>2. 有川 洋美</p>	<p>1. 生活の質（QOL）を高めるための「温泉保養券」と「健康チケットあいあい」について</p>	<p>18歳以上70歳未満で身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳、自立支援医療費（精神通院）受給者証、特定疾病療養受療証、特定疾患医療（指定難病）受給者証のいずれかをお持ちの方が対象である「温泉保養券」と、70歳以上の方が利用できる「始良市健康・長寿支援チケット（通称：健康チケットあいあい）」について問う。</p> <p>(1) 18歳以上70歳未満で障がいのある方々には、始良市内の指定の温泉を使える券「温泉保養券」が年間4,200円分支給されている。しかし、障がいや疾病の状態によっては、介助が必要だったり、温泉に行くことが難しかったり、そもそも温泉に行くニーズすらなかったりする場合がある。18歳以上70歳未満という年齢の幅や、それぞれの方の状態を見ても、ニーズの広さは一目瞭然である。移動するためのタクシー・バスへの利用拡大等、見直しが必要である。見解を問う。</p> <p>(2) 障がいのある方のための「温泉保養券」は、今年度、特定疾病の方などにも利用拡大はなされたが、利用金額が70歳以上の方が使える「健康チケットあいあい」と比べると、使用できるチケットの金額に差がある。利用金</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 市民の命と暮らしを守る水道業務の包括的民間委託について</p>	<p>額の増額を検討できないのか。</p> <p>(3) 平成30年度より、「健康チケットあいあい」は、利用方法は拡大されたが、利用金額は9,000円から6,000円に減額された。利用金額の見直しの予定はないのか。</p> <p>(4) そもそも障がいや特定疾病のある方のための「温泉保養券」や70歳以上の方のための「健康チケットあいあい」は、「誰」の願いに寄り添って、発行しているのかに立ち返るべきである。見解を問う。</p> <p>始良市水道事業部は、包括的民間委託に取り組んでいる。市民の暮らしと命を支える水を守る立場から、進捗状況と疑問点を問う。</p> <p>(1) 現在、受託事業者の公募等を行っていると思うが、進捗状況を説明せよ。</p> <p>(2) 個人情報漏洩、受託業者の撤退・倒産、更新時の引継ぎ、水道料金値上げなど問題はないか。</p> <p>(3) 民間委託化により、これまで業務に従事している検針や窓口業務に携わっている方々の雇用や給与などは担保されるのか。</p> <p>(4) 国においては水道法改正案が出された。改正案には「官民連携の推進」コンセッション方式の導入がうたわれている。始良市は一部民間委託から、最終的には民営化、つまりコンセッション方式へ向かっていくのか。</p>	<p>市 長</p>
	<p>3. 始良市における平和活動と「核兵器禁止条約」について</p>	<p>日本は、1945年8月6日広島、同年8月9日長崎へ原爆投下された。そして始良市においては同年8月11日に加治木空襲があった。始良市には積極的に戦争語り部として活動されている方々</p>	<p>市 長 教育長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>や、原爆の被爆者、そして被爆者2世の方々もいらっしゃる。戦後73年、戦争体験者の高齢化、原爆被爆者の高齢化は避けて通れない。これから生きて行く子どもたちのためにも、戦争のない、核兵器のない平和な社会を残すべきである。しかし、唯一の被爆国日本が「核兵器禁止条約」に署名していない状況では、日本が平和への思いを強く持っていることを世界にアピールすることができないと思われる。市長の見解を問う。</p>	
3. 峯下 洋	1. ICT機器の活用について	<p>昨今のICT機器の発達は目ざましく多方面で有効活用がなされている。</p> <p>当市としてもできることから取り組むべきである。そこで下記の4項目について問う。</p> <p>(1) 防災ラジオの普及を市報等で啓発しているが、最近ではスマートフォンの所有率が高くなってきていることからスマートフォンと防災ラジオの両方で聴けるようにすると効果はよりアップすると思うが見解を問う。</p> <p>(2) 県内自治体でもタブレットを導入し、職員の仕事の効率アップを図り、経費削減に努められているところがあるが、本市の対応を問う。</p> <p>(3) 学校教育にICT機器を導入し、大型スクリーン・翻訳ソフトを活用して外国との交流を図っている事例がインターネットで紹介されていたが、当市での考えを問う。</p> <p>(4) 現在、ひきこもり等で学校、職場に行けない方々がいる。彼らに働く喜びを味わってもらい、生きがいを見つけて家族に安心していただきたい。個人差があり一概には決められないが、その方法のひとつにICT機器の活用で仕事の斡旋などはできないか問う。</p>	市 長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 高齢者世帯に対する資源物収集策について</p> <p>3. 住宅地内の荒地対策について</p>	<p>(5) 若者議会の答弁で、避難所にフリーWi-Fiの設置を検討しているとあったが具体策を問う。</p> <p>(1) 月に一度、各自治会で資源物収集が行われているが、運転免許返納などによりステーションまで持っていくのが大変という意見を聞く。現在、シルバーセンターがワンコインで代行するシステムがあるが、その実績と今後の対応策について問う。</p> <p>(2) 自治会や校区コミュニティで、高齢者の資源物収集を支援している好事例があれば示せ。</p> <p>(3) 地域住民がお互いを支え合う観点から児童・生徒にその一端を担ってもらうようなことは考えられないか問う。</p> <p>長年にわたり雑草が繁茂し、近隣の住宅に迷惑をかけている土地があり、行政が厳しい対応をとるべきと相談を受ける。市の対応策を問う。</p>	<p>市 長 教育長</p> <p>市 長</p>
4. 堀 広子	1. 小・中学校へのエアコン設置と熱中症対策について	<p>記録的な猛暑のなか、学校の授業や行事の最中に熱中症などで倒れる子ども達が相次ぎ、暑さ対策が問題になっている。「教室に一刻も早くエアコンを」と、設置を求める声が高まっている。</p> <p>以下について問う。</p> <p>(1) 暑さ指数の測定器を学校に設置し、指数に応じた学校活動の中止・延期の方針について</p> <p>(2) 授業中に児童生徒が水分を補給できるような配慮について</p> <p>(3) 水泳など体育の授業での炎天下の見学禁止について</p>	市 長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 水道事業の包括的民間委託について</p>	<p>(4) 災害時には避難所としても使われることから、国や県に働きかけるとともに、始良市独自で早急に全ての普通教室にエアコンを設置すべきではないか。</p> <p>始良市総合計画、行政改革大綱、定員適正化計画に基づき、水道事業の一部民間委託化を進めている。以下について問う。</p> <p>(1) どの程度の民間委託を考えているか。民間に委託する理由は何か。</p> <p>(2) 民間委託によって、市民サービスの向上にどのようなことが期待できるか。また、水道料金の引上げにならないか。</p> <p>(3) 費用対効果、個人情報漏えい、受託業者の撤退・倒産、更新時の引継ぎなど、問題はないか。</p> <p>(4) 民間委託化により、これまで業務に従事している33人の検針員の身分や委託料などは担保されるのか。</p> <p>(5) 技術職員が減になると思うが、震災などの非常時の対応はどうか。</p> <p>(6) モニタリングは、技術者不足で第三者機関に任せることが認められているが、安心・安全の水道事業は維持できると考えるか。</p> <p>(7) 職員の技術力確保の対策はどのように図られるか。</p>	市 長
	<p>3. 市営住宅について</p>	<p>格差と貧困が広がっているなか、生活のため、少しでも家賃の低い市営住宅に移る家庭もある。家賃の低い既設の市営住宅は、老朽化しているうえに風呂がなく、入居した方が設置しなければならない。風呂釜の設置費用は約15～20万円もかかり、入居の障害になっている。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>市営住宅に風呂を設置すれば空き家対策にもなり、また、入居時の負担軽減にもなる。</p> <p>公営住宅法の目的に沿った健康で文化的な生活が営めるよう、風呂釜などを設置する考えはないか。</p>	
5. 小山田邦弘	<p>1. 子どもの視力低下について</p> <p>2. 地域防災計画について</p>	<p>(1) 子どもの視力低下の現状について 文科省の学校保健統計調査によると、平成29年度の「裸眼視力1.0未満の者」の割合は、幼稚園24.48パーセント、小学校32.46パーセント、中学校56.33パーセント、高等学校62.30パーセントとなっている。</p> <p>前年度と比較すると、幼稚園及び高等学校では減少しているが、小学校及び中学校では増加しており、過去最高となっている。本市のこれまでの推移と現状を示せ。</p> <p>(2) 視力低下への対応について 全国的な傾向としてみられる小・中学生の視力低下を踏まえ、それを予防・解消すべく本市の学校現場などでは具体的な取組を行っているか。</p> <p>(3) 近視の急増について 子どもの視力低下のなかで、特に注視されているのが、近視の急激な増加傾向である。本市における実態を示せ。また原因や対処方法を示せ。</p> <p>(1) 水防計画について 地域防災計画は、災害対策基本法第42条に基づき、市域における防災のため、市長を会長とし、市内の各防災機関の代表者を委員とする始良市防災会議が作成する計画であり、今年4月</p>	<p>市 長 教育長</p> <p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>に改訂されている。</p> <p>改訂内容に大きな不満はないが、他市の防災計画などと比較すると、水防計画が具体的でないことに不足を感じる。始良市防災会議での洪水や浸水対策など水防に関する議論の内容を示せ。</p> <p>また、水防計画を別途構築する予定はないか、防災会議会長としての市長の考えを示せ。</p> <p>(2) 直近の水害について</p> <p>この半年間において、本市内で浸水や道路の冠水などはなかったか、実例があれば具体的に示せ。また、洪水などの水害が懸念された事例などがあれば示せ。</p> <p>(3) 防災拠点としての新庁舎について</p> <p>新庁舎建設にあたっては、地域の防災拠点づくりとしての側面が強調されているが、水防上、当該立地で防災拠点として機能が十分に果たせると考えるか。</p>	